

秋田焼山の火山活動解説資料（平成 26 年 2 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 25 年 7 月 25 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～図 2-①）

東北地方整備局が山頂の西約 2 km に設置している焼山監視カメラによる観測では、^{さげびきわ}叫沢源頭部及び湯沼の噴気の高さは 50m 以下で噴気活動は低調な状態となっています。

・地震や微動の発生状況（図 2-②）

火山性地震は少ない状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 秋田焼山 山頂付近の状況（2月26日10時04分頃）

- ・山頂の西約 2 km に設置されている焼山監視カメラ（東北地方整備局）の映像です。
- ・赤丸実線で囲んだのが、叫沢源頭部の白色噴気で高さ 50m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 3 月分）は平成 26 年 4 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

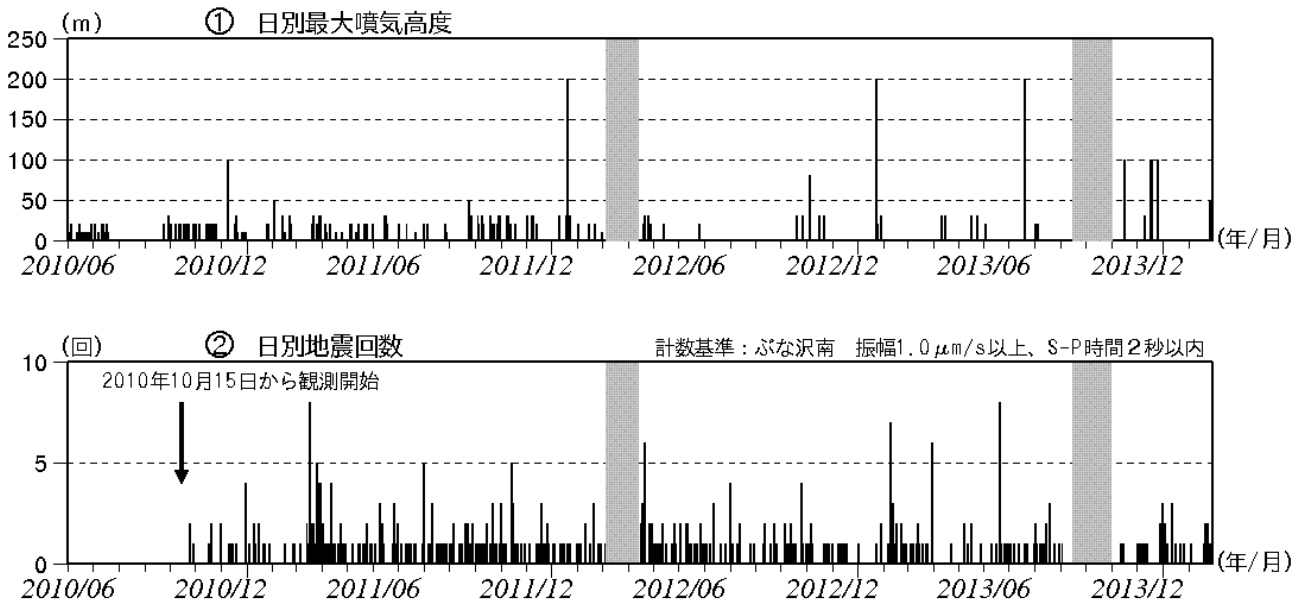


図 2 秋田焼山 火山活動経過図（2010年6月～2014年2月）

- ・ ①2010年6月1日から焼山監視カメラ（東北地方整備局）により観測を開始しました。
- ・ ②2010年10月15日から観測を開始しました。
- ・ 図の灰色部分は欠測を示します。

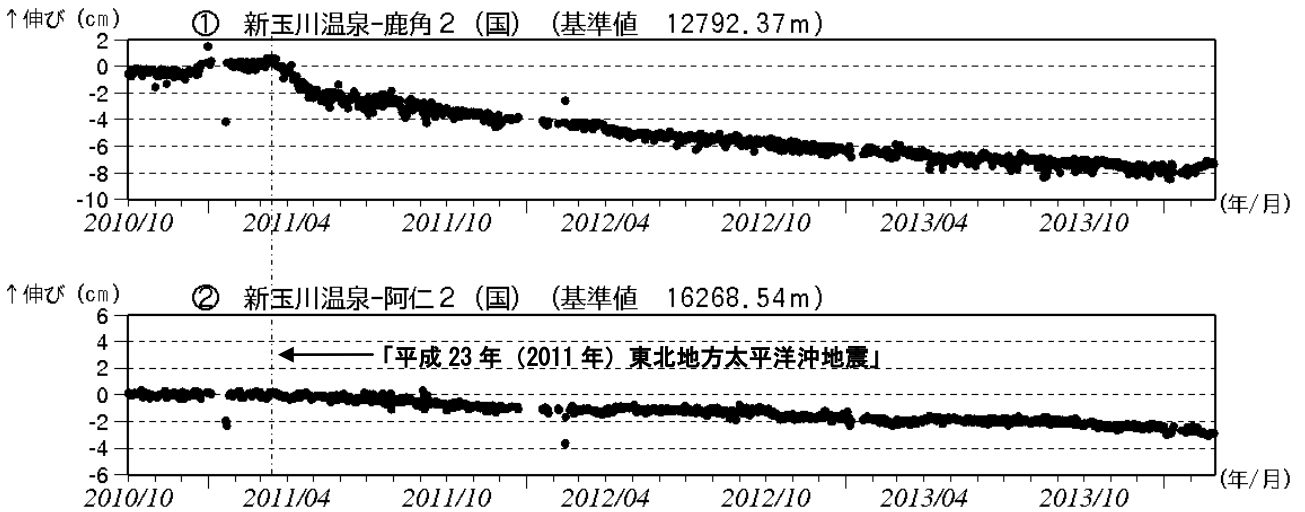


図 3 秋田焼山 GNSS 基線長変化図（2010年10月～2014年2月）

- ・ 2011年3月11日以降の縮みの傾向は、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～②は図 5 の GNSS 基線①～②に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合がありますが、最新の値のみ表示しています。
- (国) : 国土地理院

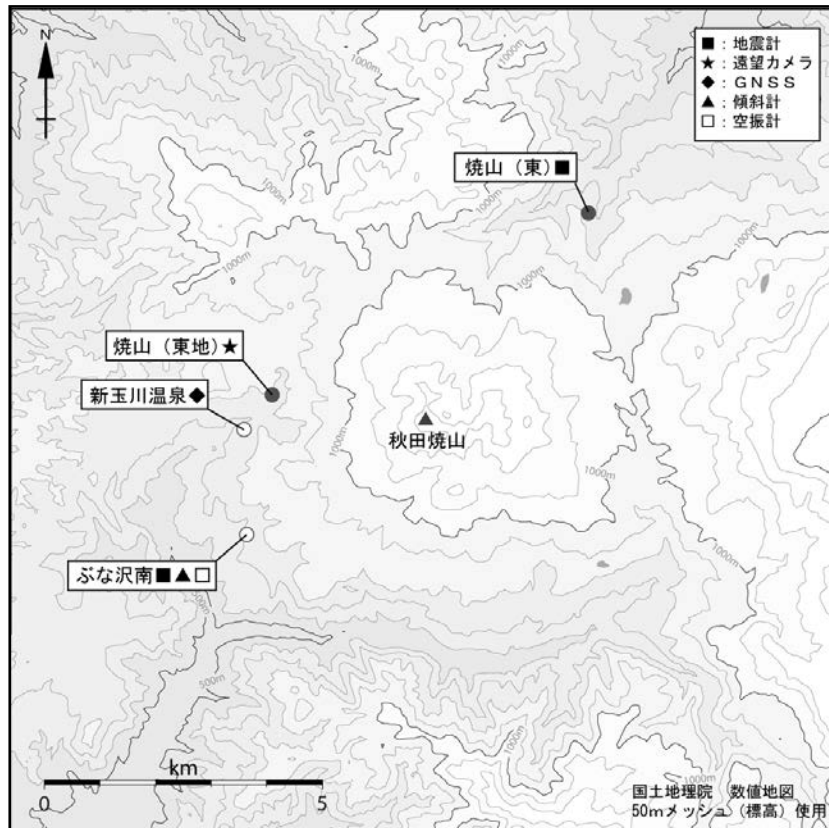


図4 秋田焼山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （東）：東北大学

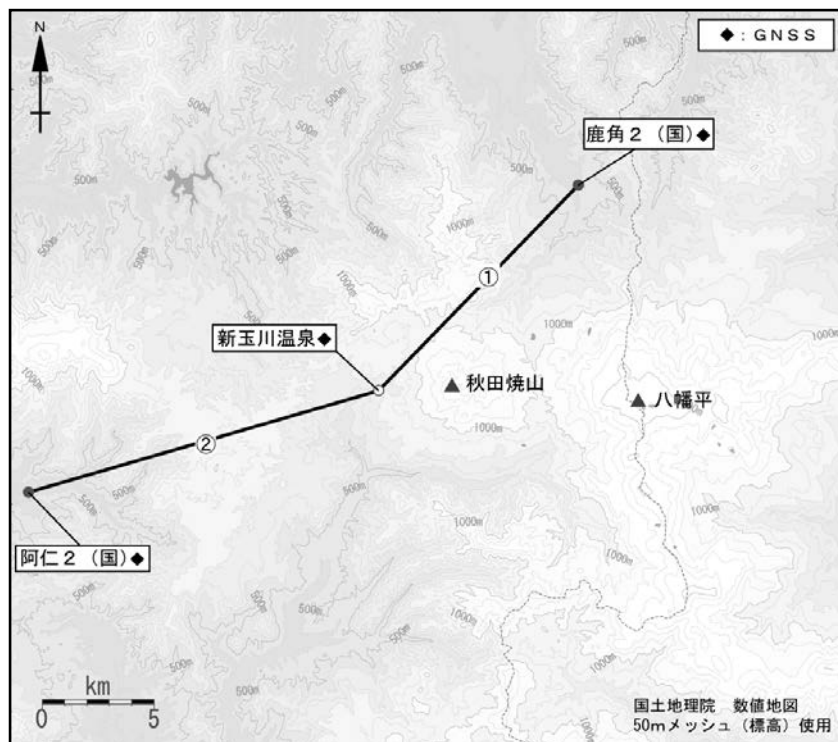


図5 秋田焼山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院